



小倉の棚田（上山市）

人と人との力 地域の力 東北の未来に



# 村山総合支庁ニュース

—Murasou News— 第180号 平成29年8月号 山形県村山総合支庁

## 知事と若者の地域創生ミーティング in 村山市

6月21日（水）、村山市の甑葉プラザにおいて、地域で活動している若者11名を迎え、知事とのミーティングが行われました。集まった若者からは、農業や会社経営、育児のことなど各自が今取り組んでいる仕事や活動についての紹介や意見が述べられたほか、地元を愛する熱い思いが語られました。



村山市の若者11名が参加

知事は一人一人の意見に対し熱心に耳を傾けながら、「地域に根ざして活動している皆さんが、これからの山形県を支えていく大きな力だと思っている。これからはぜひ自分の想いを大切にしながら、実現に向けて努力をしてほしい。」と言葉をかけられていました。



（総務課 621-8106）

## 知事のほのぼのの訪問「最上紅花若菜を広める会・名星太鼓ばあちゃん連」



栄養価の高い紅花料理の説明を受ける知事

6月16日（金）、紅花出荷の最盛期を迎えるなか、吉村知事が山形市落合地区の「最上紅花若菜を広める会」を訪問しました。

最上紅花若菜を広める会は、最上紅花の普及拡大と地域の福祉向上に寄与することを目的として、25aのハウスや露地で最上紅花の切り花の生産や、若菜加工品の販売を行っている団体です。

当日は、会員の皆さん15名とともに活動の紹介や園地の視察のほか、紅花若菜を使った創作料理の試食が行われ、通称「若返りのビタミン」といわれるビタミンEの一種トコフェロールが豊富に含まれている若菜料理を前に、知事からは「たいへん美味しい。いろんな魅力があるのが山形の県花“紅花”だと思っている。皆さんと一緒に紅花を活用した地域振興に取り組んでまいりたい。」と激励の言葉がかけられました。（総務課 621-8106）

つづいて6月21日（水）には、村山市の「名取地区名星太鼓ばあちゃん連」を訪問しました。ばあちゃん連は、名取地区に10年ほど前に寄付された「名星太鼓」を活用して地域を元気にしようと平成26年に地区のばあちゃん10人で結成され、最初はバチの持ち方から教わり



元気いっぱいの演奏を披露中

練習を重ね、現在では施設やイベントでも堂々と演奏を行うまでになりました。

月2回の練習では、太鼓の後に会員手作りのお茶おきを持ち寄ってお茶のみをするのが慣例になっていて、この日も山菜の漬物やかきもちなどを囲んで賑やかに知事との懇談が行われました。

披露された太鼓の演奏を聴いて、知事からは「皆さんが集まって元気になり、太鼓をたたいて元気になり、それを聴いた人も元気になる、たくさんの人を笑顔にする素晴らしい活動をぜひこれからも続けてほしい。」と激励の言葉がかけられました。（総務課 621-8106）



最後にみんなで記念撮影

## 知事のいきいき企業訪問「ナブテスコ・オートモーティブ山形工場」(村山市)



知事を歓迎するロボットを視察している吉村知事、志布村山市長とナブテスコ(株)の小川社長、森枝工場長等

6月21日(水)、吉村知事は、志布村山市長、駒林村山総合支庁長等とともに、村山市のナブテスコ・オートモーティブ山形工場を訪問しました。この日東京から来形したナブテスコ・オートモーティブ株式会社の小川社長をはじめ、工場社員のあたたかい出迎えを受けました。

同工場は1991年の設立で、今や商用車用ブレーキのトップメーカーの主力工場。海外展開しているタイヤインド工場のマザー工場にもなっています。生産システムは高度に自動化されており、生産は毎年10%程度伸びているそうです。航空機や風力発電、自動ドア等多彩な高度技術を持ったナブテスコ株式会社のグループ企業の中でも、最もIoTの導入に積極的に取り組んでいるとのこと。

吉村知事は、複雑な工程を連続して自動でこなす工作機械群や、創意工夫にあふれた組立てロボット等をはじめ、世界から集まる原材料等のバックヤードまで、同工場の生産システムの説明に興味深くうなずきながら視察しました。

(地域産業経済課 621-8442)

## 村総食堂で大江町産やまがた地鶏を使った料理を提供しました



もも肉の竜田揚げ(左、中央)とむね肉の棒棒鶏風(右)

去る6月19日(月)から6月23日(金)まで、村山総合支庁本庁舎食堂の特別企画として、「大江町産やまがた地鶏」を使った料理を提供しました。1日2種類の料理の組合せによる日替わり定食(1日30食限定)で、支庁内の職員のほか多くの県民の方からもお越しいただき、5日間で合計150食が完売となりました。このうち、142名のお客様からアンケートに回答をいただき、「おいしい」、「どちらかといえばおいしい」を合わせて、約8割の方から高評価を得られた一方、価格(950円)については、8割超の方が「高い」、「やや高い」という評価でした。

飼育日数が長いことが地鶏の特長であり、高コストとならざるを得ないことについて、消費者の皆様からのご理解をいただきながら、美味しさと価格の両面で受け入れられるよう、今後とも関係機関と連携し、各種イベント等を通して消費拡大、販路拡大に取り組んで参ります。

(農業振興課 023-621-8382)



県民の方からも地鶏料理を召し上がっていただきました。

## 村山総合支庁 本庁舎 ミニギャラリー 展示作品募集!

11月以降、空きがあります。ぜひお申込みください。(7月31日現在)

- 申込先：総務課
- 電話：023-621-8106
- 使用料：無料



## シリーズ

～むらやまの若人（わこうど）たち～Vol.52 学ぶ場に“居場所”をプラスして

## 山形大学学習支援サークル「学び場プラス」

あびこ かすき あさみ たいが はしもと けいこ  
安孫子 知樹さん（代表） 浅見 大河さん 橋本 啓牙さん

経済的な理由などで塾に行けない子どもたちに、無料で学習支援と居場所を提供している学生サークル「学び場プラス」のメンバーに話を伺いました。サークルを運営している代表の安孫子知樹さんは、天童市出身で地域教育文化学部の3年生。「子どもたちが普段話すことのないお兄さん、お姉さんと話せる場所、自分が主役になって話せる場所なんです」と顔をほころばせる。今年入部した工学部1年生の浅見大河さん（栃木出身）と橋本啓牙さん（福島出身）は、子どもたちの学習支援を担当。「子どもに教えるために自分も勉強し、成長できるのが嬉しい」「やんちゃな小学生に戸惑いながらも、徐々に心を開いて信頼関係ができるところに充実感を感じている」と瞳を輝かせます。

活動は週1回、保護者の送迎のしやすさを考慮して、土曜日の



生徒に寄り添う大学生

17時～20時までの3時間、山形県社会福祉協議会の一室を借りて活動しており、約30人の学生が支えています。現在は小学3年生から高校3年生までの十数名の生徒に、一人一人の課題に寄り添った支援を心がけています。

「学び場プラス」には、学ぶ場だけでなく居場所もプラスしたいという願いが込められています。自分たち学生にできることは、今後も「続けていくこと」「あり続けること」と語る安孫子さん、8月19日（土）に企画しているイベントで多くの生徒を募りたいと張り切っていました。（子ども家庭支援課 627-1153）



（右から）

代表の安孫子さん、浅見さん、橋本さん。  
山形大学学習支援サークル「学び場プラス」  
連絡先：安孫子 知樹（080-5739-6147）

## 村山地域サポート講座「やってみよう！木育」



カンナ掛け作業の様子

6月16日、山形大学附属特別支援学校へ職員出前講座に赴き、中学部1・2年の生徒10人とヒノキのマイ箸&木の枝えんぴつ作りに取り組みました。

箸作りではカンナを使う作業はコツと力が必要で、ヒノキならではの削ったときに出るさわやかな香りを一緒に楽しんでいました。また、木の枝えんぴつ作りでは、タムシバ、サクラ、ケヤキ、スギなど、それぞれの樹皮の色や形状、枝の長さや太さの違いなどを見ながら、自分の好きな枝を選んでいました。その後、木の硬さに悪戦苦闘しながら、カッターナイフで削り

完成させました。参加した生徒からは「この箸で早くラーメンを食べたい！」「意外と字が書きやすい。」と感想があり、世界に一つだけのモノ作りを楽しんでいました。みなさんも木とふれあう木育の時間を体験してみませんか？

今後も引き続き職員出前講座の依頼をお待ちしています。

（森林整備課 621-8248）



木の枝えんぴつ



マイ箸



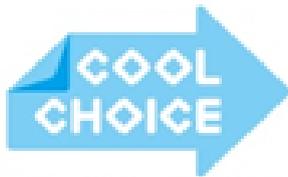
# インフォメーション



## 夏の省エネ県民運動実施中！（6月～9月）



©YOC



未来のために、いま選ぼう。

地球温暖化防止に向け、無理のない範囲で省エネの取り組みをお願いします。運動期間中は、次のような企画があります。県のHPに詳しく掲載しています。是非ご応募ください。

ホームページ URL：[http://www.pref.yamagata.jp/kurashi/kankyo/ondanka/8050015syouene\\_summer.html](http://www.pref.yamagata.jp/kurashi/kankyo/ondanka/8050015syouene_summer.html)

### ●やまがたエコスマイルコンテスト

省エネ・節電にまつわる標語、川柳、ポスターを募集します。

### ●家庭のアクション

家庭での節電の取り組みを報告すると、抽選で景品が当たります。2030年度に温室効果ガスの排出量を2013年度比で26%削減するため、日本が世界に誇る省エネ・低炭素型の製品を購入するなど「賢い選択」を行いましょう。

（環境課 023-621-8425）

## ◆特集◆

## むらやま夏の風景

むらやま水土里のお宝100選より



大浦の棚田（大石田町）



スイカ橋（大石田町）



いこいの森農村公園（寒河江市）



伏熊沼（大江町）



田麦野の棚田（天童市）



鳴谷地イワナ水路（上山市）

<http://www.pref.yamagata.jp/ou/sogoshicho/murayama/301045/midorinootakara.html>

写真提供：農村計画課 621-8159

## あとかき

暑い夏も土用を過ぎ残すところ、あと1ヶ月あまりとなりました。夏バテなどしていませんか？日頃から十分な睡眠と水分&栄養補給につとめ、暑い夏を元気に乗り切りましょう。

■発行元■  
村山総合支庁総務企画部  
総務課総合相談担当  
Tel. 023-621-8106  
Fax.023-624-3056

村山総合支庁ニュースは、山形県のホームページからも ご覧いただけます。

<http://www.pref.yamagata.jp/ou/sogoshicho/murayama/301001/murayamanews.html>

